

エフセキュア 2009 年度第 3 半期セキュリティ統括を発表

ソーシャルメディアがオンライン犯罪者の攻撃対象に

(2009年10月01日ヘルシンキ発 - フィンランド本社発表資料抄訳)

エフセキュアは、2009 年第 3 四半期のハイライトとして、次のことを挙げています。

- 検索エンジンによる検索結果の安全性に対する関心の高まり
- ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)をターゲットにした攻撃の増加
- 有名人の弔報ニュースを悪用したオンライン犯罪の急増
- 携帯電話を標的にしたセキュリティ脅威の復活

フィンランド、ヘルシンキ発 - 2009年10月1日

ブロードバンドによるインターネット接続環境が世界的に拡大し続けている一方で、コンピュータのリソースは進化するソフトウェアのスペックに追いついていません。このためソフトウェア業界は、ソフトウェアの軽量化とパフォーマンスの最適化を重視した開発を進めています。8月に発売された Mac OS X Snow Leopard が既にこの傾向を実現しており、トロイの木馬に対応した数種のアンチウイルス機能を搭載しています。

Microsoft も近々新しい OS の Windows 7 をリリースしますが、前 OS の Windows Vista と比べて軽量化およびセキュリティ強化が図られています。実際、Windows Vista のユーザアカウント制御 (UAC) は頻繁に警告画面が出るために、多くのユーザがこれを無効化していましたが、最新の Windows 7 では改善されているようです。Google については、新しい Google Chrome OS がアプリケーションのほとんどをウェブ上でホストすることで、余分なものをできるだけ省くという設計思想に沿って開発を行っている」と発表しています。

ブラウザのセキュリティ強化

Firefox ブラウザには新規のプライベートブラウザ機能が導入され、また Firefox 3.5.3 には、インターネットユーザにとってセキュリティホールとなる可能性が大きくなっている旧バージョンの Adobe Flash Playe に対する警告機能を搭載しています。

検索エンジンの競争激化がセキュリティ強化につながる

検索エンジン分野の最前線では Microsoft と Yahoo が提携し、Yahoo の検索エンジンを Bing に入れ替えることになりました。Microsoft は、Bing にアダルトコンテンツのフィルタリングなど新しい機能を導入することにより、Google に対抗したいと考えています。現在、インターネットユーザにとって検索結果の安全性を高めることは重要な要素となっています。一連の有名人の弔報：マイケル・ジャクソン氏、ファラ・フォーセツ

ト氏、パトリック・スウェイジ氏のニュースは、オンライン犯罪者によってすぐに SEO 攻撃に悪用され、偽のアンチウイルス製品を購入するよう仕向けられるなどのフィッシング詐欺が頻繁に報告されています。新型インフルエンザ (H1N1) も、インターネットユーザを詐欺サイトに誘導するための、感情に訴える「わな」として悪用されています。

ソーシャルネットワーキングサイト (SNS)が攻撃対象に

9月に入り、Facebook のアカウント数が 3 億に達しました。ソーシャルメディアとして発達しているネットワークサービスは、引き続きオンライン犯罪者と政治的な利益を狙う犯罪者のターゲットとなっています。ソーシャルネットワークは、個人的なつながりやログイン認証を必要とするアカウントに対する信頼性、信憑性があり、そのような性質を利用した犯罪者によるセキュリティ侵害を受けやすいと言えます。この特徴を狙って悪質なサイトに誘導する手法が多発しています。以前よりエフセキュアは、インターネットユーザにより安全で堅牢なパスワードを設定するよう呼びかけており、特に Facebook と E-Mail アカウントに使用するログイン情報に同じパスワードを使用しないよう忠告しています。

8月には Twitter がボットネット構築に悪用され始めました。さらに Twitter アカウントを偽の AV 製品への誘導にも利用する例も報告されています。

政治的動機による DDoS 攻撃

8月、グルジア人ブロガーの Twitter、Facebook、LiveJournal、Google Blogger、YouTube のアカウントが政治的動機により DDoS 攻撃を受けた、と CNET の Elinor Mills 氏が伝えました。

マレーシアの独立記念日 8月 31 日には別な DDoS 攻撃が仕掛けられ、ハッカーはマレーシア国内のウェブホストを標的とし、100 を超えるウェブサイトが書き換えられました。標的には国立の機関、大学、主要メディア、商業サイトなどが含まれていました。

携帯電話を標的とする脅威が復活

携帯電話のセキュリティ業界はこの第 3 四半期に、SMS ワーム Yxe (別名 Sexy View) が Sexy Space に形を変えて再び登場したことを確認しました。Sexy Space はオリジナルのワームとほぼ同じ働きをします。新しい亜種の Yxe.D では旧種とは異なる中国の企業が Symbian 発行の証明書を取得しています。

古い「不在着信詐欺」も復活しています。知らない番号から国際電話がかかり、応答するとすぐに切れてしまうというものです。好奇心に駆られて、この番号に折り返し電話すると「呼び出し音」のオーディオファイルが聞こえるだけですが、実際にはこの通話が特別なレートで課金されています。エフセキュアでは、電話料金の請求書を見て驚くことがないよう、見慣れない番号の場合、折り返し電話をする前に Google または WhoCallsMe : <http://whocallsme.com/> (英語) などで検索することを勧めています。

エフセキュアの 2009 年第 3 四半期セキュリティ総括の詳細については、下記をご参照ください。(英語)
<http://www.f-secure.com/2009/>

かけがえのないものを守る

エフセキュアはネット上の脅威からあなたを守り、快適で安全なネットライフを約束します。思い出のつまった写真や動画も自動でオンライン上にバックアップ。世界中で何百万もの家庭やオフィスに信頼されているエフセキュアは、1988年にフィンランドで生まれました。

詳しくは、www.f-secure.co.jp

エフセキュア株式会社 会社概要

<http://www.f-secure.co.jp/>

エフセキュア社は、IT先進国フィンランドで1988年に設立されて以来、20年にわたりセキュリティ製品に取り組んでいる業界の老舗で、世界規模でセキュリティサービスを提供しています。1999年にOMXヘルシンキ証券取引所に上場し、以来、業界で最も急速に成長し続けている株式公開企業です。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2009年5月に日本法人設立満10周年を迎えました。

設 立 : 1999年5月
会 社 名 : エフセキュア株式会社
代 表 者 : 日本法人代表 桜田 仁隆
所 在 地 : 〒220-0011 横浜市西区高島 2-19-12 スカイビル 23F
事業内容 : セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

< 本件に関するお問合せ先 >

エフセキュア株式会社

担当 : 尾崎 risa.ozaki@f-secure.com

TEL: 045-440-6780、FAX: 045-440-6616

〒220-0011 横浜市西区高島 2-19-12 スカイビル 23F

URL: <http://www.f-secure.co.jp>

Blog: <http://blog.f-secure.jp/>